

第2・3学年複式算数科学習指導案

日時 平成20年10月8日(水) 5校時
児童 2年生 男4名 女3名 計7名
3年生 男3名 女0名 計3名
授業者 外 館 裕 美

第2学年

1. 単元名 10 かけ算(1)(東京書籍)
2. 単元について
(1) 教材について

学習指導要領の2学年の目標の(1)に「具体物を用いた活動を通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え用いることができるようにする。」とある。

1学年では、「10を6こ集めた数が60である」といったような数の理解と関連付けて、一まとまりになっている数とまとまりの個数からものの総数求めるなどの具体を通して、乗法の素地的な経験をしてきている。

この単元では、具体的な量をもとにして、それがいくつ分あり全体の量となることをとらえていく。乗法の意味の獲得に際しては、図的なイメージ、活動、式とを関連付けて指導していくものである。

九九の構成については、答えがいくつずつ増えているかに気づくようにし、それを活用して九九を構成するよう展開している。

- (2) 児童について

レディネステストの結果を見ると、5個ずつのまとまりや、それがいくつぶんあるかなどはよくとらえている。10とびや2とびなどについても理解している。未習のかけ算については正答は多いが、意味理解が不十分である。

研究のめざす子ども像からみると、筋道を

第3学年

1. 単元名 11 かけ算の筆算(1)(東京書籍)
2. 単元について
(1) 教材について

学習指導要領には、数と計算領域の(3)に「乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。」とある。

それを受けて、この単元では、2位数や3位数に1位数をかける乗法のしかたを考え、それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることやその筆算の仕方について理解させるものである。

その際活用できるのは、既習の分配法則の考え方である。これを用いれば、これまで学習してきた乗法九九とたし算によって答えがもとめられることに気づくことができる。分配法則と部分積を省略しない筆算形式を関連づけて指導する。

また、結合法則の良さについても学習する。そして、乗法に関して成り立つ性質や効率的に考える算数の良さにふれることができる。

- (2) 児童について

レディネステストの結果を見ると、既習のかけ算九九やきまりについては、よく理解している。未習の2位数 \times 1位数の問題は、かけられる数を一の位と十の位を分けて考えるところまでは全員ができていた。累加で求めている児童や位毎にかけ算九九を用いて解いている児童がいた。

研究のめざす子ども像からみると、既習事項を使って、問題を解決しようという意識は

立てて考えることは苦手である。順序良く考えていくのではなく、試行錯誤的に考えていくことが多い。そのため、考えの根拠を聞かれると戸惑ってしまう事も多々ある。しかし、学びあう中で理解を深めようとする姿が見られる。

普段行っている算数的活動は、計算だけでなく、解き方の意味理解を深めるために、図をかくななどの操作的活動を通して考えさせる活動である。

(3) 指導にあたって

かけ算の導入では、1つ分の大きさをとらえることが重要である。これを遊園地で遊んでいる子どもの人数を「1台に○人ずつ」乗っていて、それが「△台分ある」と言う様に、図を手がかりに考えさせることによって、イメージ化することができ、意味理解を深めることができるであろう。

また、「同じまとまりに目をつけて考えていく」という既習事項を生かしながら、1つ分の数をとらえることをていねいに取り扱っていききたい。

この単元を通して、九九を構成する際には、図と式を対応させる算数的活動を取り入れ、意味理解を図る。そして、根拠を明らかにしながら考えることができるよう指導していく。

育ってきている。だが、根拠を示しながらわかりやすく説明する力は、充分ではない。また、友達の発表を聞き、その良さや違い、共通性などを見取る力が不足している。

タイル図やアレイ図など、図にかいて考えることはできるようになってきている。しかし、意味理解を深めるための話し合い活動には、課題が残る。

(3) 指導にあたって

2位数・3位数かける1位数の筆算のしかたを指導する際には、その意味理解を大切に扱っていききたい。つまり、かけられる数が2位数であってもかけ算の基本の式

「1つ分×いくつ分」にあてはまるのである。テープ図などを用いて視覚的にかけ算の意味をとらえさせていく。そして、 $ab \times c$ の時 $a \times c + bc$ が成り立つことから、筆算のしかたを理解させていく。

ここで大切なのは、数を分解して見ること、既習のかけ算を使えば計算できるということを理解させることであると考ええる。

また、筆算の書き方なども細かく指導するとともに、計算が正確にできるよう繰り返し練習させ定着を図る。

本校の研究主題の「筋道立てて考える子どもを育てること」に関わっては、学習したことを活用し、意味理解を深める算数的活動を仕組む。そして、根拠を明らかにしながら説明する力をつけていきたい。

5. 単元指導計画・単元指導構想表【2年生】

	①かけ算					②5の段、2の段の九九	
	1・2	3・4	5	6	7	8	9・10
目標	○「1つぶんの大きさ」「いくつぶん」をとらえられるようになる。	○乗法の意味を理解する。	○乗法の意味の理解を確実にする。	○乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。	○乗法の場面としてとらえることができる場面が、身のまわりに多くあることを知るとともに、乗法の意味の理解を確実にする。	○5の段の九九を構成する。	○5の段の九九を記憶し、適用する。
つかむ	課題を把握する くふうして教えよう。	課題を把握する まとまりに注意して教えよう。	課題を把握する おはじきを使って、かけ算を考えよう。	課題を把握する かけ算の答えのもとめ方を考えよう。	課題を把握する かけ算であらわせるものをさがそう。	課題を把握する 5の段の九九を作り、ひみつをみつけよう。	課題を把握する 5の段の九九をおぼえよう。
しらべる	<ul style="list-style-type: none"> p.2の絵を提示し、遊園地の入り口付近で整列した人とばらばらの人の数を数えることを通して、新しい計算への興味、関心を高める。 絵を見て、それぞれの乗り物に乗っている子どもの人数を調べる。 総数が同じでも1台に同じ人数ずつ乗っているものといないものがあることや、同じ人数ずつ乗っている場合でも1台に乗っている人数が違うことから、「1つぶんの大きさ」と「いくつ分」をとらえる。 *おはじきを置いたり、○で囲んだりしてまとまりに着目して考える。 	<ul style="list-style-type: none"> $6 \times 3 = 18$ の式の意味を理解する。 用語「かけ算」を知る。 乗法の場面を式に表す。 *おはじきを使ったりアレイ図をかいたりして、同じ数のまとまりがいくつ分あるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の式から、その場面をおはじきで表す。 並んだおはじきを乗法の場面としてとらえ、乗法の式に表す。 *おはじきを使ってかけ算の意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面をとらえ、立式や答えの求め方について考える。 乗法の答えは、被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。 *おはじきを使ったりアレイ図をかいたりして考えそれを式に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 【やってみよう】乗法の場面としてとらえることができる身のまわりの場面を探し、乗法の式に表す。 *身の回りから、かけ算で表すことができる事象をさがして、式を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1台の車に5人ずつ乗っているときの1～4台分の人数を求める。 累加や5とび、アレイ図などを用いて5の段の九九を構成する。 *アレイ図とたし算をつかって5の段について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語「九九」を知り、5の段の九九を唱え、カードなどを使って練習をする。 5の段の九九の答えは5ずつ増えていることを再確認する。 5の段の九九を用いて問題を解決する。 *アレイ図やたし算を結びつけながら、九九の練習をする。
たしかめる	<ul style="list-style-type: none"> *教え方をわかりやすく説明する。 *同じ数ずつのまとまりがいくつ分あるかという見方で数えるとよいことについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> *教え方をわかりやすく説明する。 *かけ算の意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> *「一つ分の数」「いくつ分の数」といった用語を使いながら説明する。 *おはじきで表したものをアレイ図にもかけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> *図と関連させながら、たし算で答えを求めることができることについて説明したり話し合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> *「一つ分の数」「いくつ分の数」といった用語を使いながら説明したり話し合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> *5の段の九九の作り方について説明する。 *5の段の九九は、一つ分の数ずつ増えていることについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> *5の段の九九の問題について算数用語を用いて答えの求め方を説明する。
まとめる	まとめる 同じまとまりがいくつ分あるかを考えて数えます。	まとめる かけ算は、「一つ分の数」×「いくつ分」＝「ぜんぶの数」であらわします。	まとめる かけ算は、「一つ分の数」が「いくつ分」あるかであらわします。	まとめる かけ算の答えは、一つ分の数をいくつ分の数の回数だけたしてもとめます。	まとめる 身の回りには、かけ算であらわすことができるものがたくさんあります。	まとめる 5の段の九九は、5（一つ分の数）ずつふえていきます。	まとめる 5の段の九九を言いながら書いてまとめる。
育てたい力	解決への見通しを持つ力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、順序よく話す力
算数的活動	《意味理解を深めさせる活動》 おはじきを使ったり、○で囲んだりして、同じ数のまとまりに着目して数えることよきことに気づかせる。	《意味理解を深めさせる活動》 おはじきを使ったりアレイ図をかいたりして一つ分の数やいくつ分の数の意味を知り、かけ算について理解させる。	《意味理解を深めさせる活動》 おはじきを使ってかけ算の意味（一つ分の数といくつ分を逆にしてはならないこと）について考える。	《意味理解を深めさせる活動》 アレイ図とたし算とを結びつけて考えさせ、かけ算の答えの求め方を理解させる。	《生活と結び付けて考えさせる活動》 身の回りのまとまりに目をつけ、一つ分の数×いくつ分の式で表すことができるものがあることに気づかせる。	《意味理解を深めさせる活動》 アレイ図とたし算を結びつけながら考え、5の段の九九の構成を理解させる。	《習熟を図る活動》 一つ分の数ずつ増えていくことを意識させながら、5の段の九九の習熟を図る。
評価規準	【考】数量の関係を「単位とする大きさ」「いくつ分」ととらえることができる。	【表】乗法の場面としてとらえることができる場面を乗法の式に表したり、式を読んだりすることができる。 【知】数量の関係を「単位とする大きさ」「いくつ分」ととらえ、それを簡潔に表したものが乗法の式であることを理解している。	【表】乗法の場面としてとらえられる場面を式に表したり、乗法の式から場面を表現することができる。	【表】乗法の答えを被乗数を乗数の数だけ累加する方法で求めることができる。	【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。	【知】5の段の九九の構成のしかたを理解している。	【表】5の段の九九を唱えることができ、それを用いて身のまわりの問題を解決することができる。

	②5の段、2の段の九九		③3の段、4の段の九九				
	11	12・13	14	15・16	17（本時）	18・19	20
目標	○2の段の九九を構成する。	○2の段の九九を記憶し、適用する。	○3の段の九九を構成する。	○3の段の九九を記憶し、適用する。	○4の段の九九を構成する。	○4の段の九九を記憶し、適用する。	○問題作りによる、式の読みや式に表現することを通して、5, 2, 3, 4の段の理解を深める。
つかむ	課題を把握する 2の段のかけ算を作り、ひみつをみつけよう。	課題を把握する 2の段の九九をおぼえよう。	課題を把握する 3の段のかけ算を作り、ひみつをみつけよう。	課題を把握する 3の段の九九をおぼえよう。	課題を把握する 4の段のかけ算を作り、ひみつをみつけよう。	課題を把握する 4の段の九九をおぼえよう。	課題を把握する かけ算のもんだいを作ろう。
しらべる	・1台の自転車に2人ずつ乗っているときの1～5台分の人数を求める。 ・累加や2とび、アレイ図などを用いて2の段の九九を構成する。 *アレイ図とたし算とを結び付けながら考える。	・2の段の九九を唱え、カードなどを使って練習をする。 ・2の段の九九の答えは2ずつ増えていることを再確認する。 ・2の段の九九を用いて問題を解決する。 *アレイ図やたし算を結び付けながら、九九の練習をする。	・1台のコーヒーカップに3人ずつ乗っているときの1～4台分の人数を求める。 ・3×4の答えにいくつたせば3×5になるかを考える。 ・3×5の積に3をたせば3×6の積になることを活用して、3の段の九九を構成する。 ・用語「かけられる数」「かける数」を知る。 *アレイ図とたし算とを結び付けながら考える。	・3の段の九九を唱え、カードなどを使って練習をする。 ・3の段の九九の答えは、乗数が1増えると3増えることを確認する。 ・3の段の九九を用いて問題を解決する。 *アレイ図やたし算を結び付けながら、九九の練習をする。	・1台のジェットコースターに4人ずつ乗っているときの1～5台分の人数を求める。 ・4×3のかける数が1増えると答えはいくつ増えているか確かめる。 ・4の段では、かける数が1増えると答えが4増えることを活用して、4の段の九九を構成する。 *アレイ図とたし算とを結び付けながら考える。	・4の段の九九を唱え、カードなどを使って練習をする。 ・4の段の九九の答えは、乗数が1増えると4増えることを確認する。 ・4の段の九九を用いて問題を解決する。 *アレイ図やたし算を結び付けながら、九九の練習をする。	・絵を見て、2×4の式で表すことができる場面を探す。 ・絵を見て、乗法の式に表すことができる場面を探し、式に表す。 *同じ数のまとまりに目をつけ、アレイ図をかきながら乗法の式を考える。
たしかめる	*2の段の九九の作り方について説明する。 *2の段の九九は、一つ分の数ずつ増えていることについて話し合う。	*2の段の九九の問題について算数用語を用いて答えの求め方を説明する。	*3の段の九九の作り方について説明する。 *3の段の九九は、一つ分の数ずつ増えていることについて話し合う。	*3の段の九九の問題について算数用語を用いて答えの求め方を説明する。	*4の段の九九の作り方について説明する。 *4の段の九九は、一つ分の数ずつ増えていることについて話し合う。	*4の段の九九の問題について算数用語を用いて答えの求め方を説明する。	*かけ算の式の意味を「一つ分」や「いくつ分」という算数用語を用いて説明する。
まとめる	まとめる 2の段の九九は、2（一つ分の数）ずつふえていきます	まとめる 2の段の九九を言いながら書いてまとめる	まとめる 3の段の九九は、3（一つ分の数）ずつふえていきます。	まとめる 3の段の九九の答えは、かける数が1ふえると3ふえます。	まとめる 4の段の九九は、4（一つ分の数）ずつふえていきます	まとめる 4の段の九九の答えは、かける数が1ふえると4ふえます。	まとめる かけ算のもんだいを作る時は、同じ数のまとまりを見つけるとよい。
育てたい力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、順序よく話す力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、順序よく話す力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、順序よく話す力	根拠を明らかにしながら、考える力
算数的活動	《意味理解を深めさせる活動》アレイ図とたし算を結びつけながら2の段の九九の構成のしかたを理解させる。	《習熟を図る活動》一つ分の数ずつ増えていくことを意識させながら、2の段の九九の習熟を図る。	《意味理解を深めさせる活動》アレイ図とたし算を結びつけながら3の段の九九の構成のしかたを理解させる	《習熟を図る活動》かける数が1増えると答えは3増えることを意識させながら、3の段の九九の習熟を図る。	《意味理解を深めさせる活動》アレイ図とたし算を結びつけながら4の段の九九の構成のしかたを理解させる	《習熟を図る活動》かける数が1増えると答えは4増えることを意識させながら、4の段の九九の習熟を図る。	《学習したことを活用させる活動》自分で学習したことを確かめながら、問題を解決させる。
評価規準	【考】5の段の九九と同じ考えを用いて2の段の構成を考えている。 【知】2の段の九九の構成のしかたを理解している。	【表】2の段の九九を唱えることができ、それを用いて身のまわりの問題を解決することができる。	【考】乗法について成り立つ性質を用いて、九九の構成のしかたについて考えている。	【表】3の段の九九を唱えることができ、それを用いて身の回りの問題を解決することができる。	【考】乗法について成り立つ性質を用いて、九九の構成のしかたについて考えている。	【表】4の段の九九を唱えることができ、それを用いて身の回りの問題を解決することができる。	【関】乗法を用いる場面をとらえたり、ことばや式で表現したりしようとしている。 【考】乗法の場面としてとらえることができる場面を見つけ、式に表したり、乗法の式を読んだりすることを通して、乗法の式の意味について考えている。

④まとめ				
	2 1	2 2	2 3	2 4
目標	○学習内容を確実に身につける	○学習内容の理解を確認する	○学習内容の理解を確認する	○学習内容の理解を確認する ○学習内容を確実に身につける
つかむ	課題を把握する かけ算をしっかりとぼえよう。	課題を把握する かけ算をしっかりとぼえよう。	課題を把握する かけ算をしっかりとぼえよう。	課題を把握する 力だめしをしよう。
しらべる	・「力をつけよう」に取り組む。	・「たしかめよう」に取り組む。	・かけ算の九九を書いたり唱えたりして理解を確実にする。 *教科書やノートを振り返りながら大切なところをまとめる。 ・学習プリントに取り組む	・ワークテストに取り組む。
たしかめる	*答え合わせをし、なぜ間違っただのか考える。	*答え合わせをし、なぜ間違っただのか考える。	*答え合わせをし、なぜ間違っただのか考える。	*かけ算の意味を考えながら問題をふり返る。
まとめる	まとめる ・自分のまちがいやすいところについてまとめる。	まとめる ・自分のまちがいやすいところについてまとめる。	まとめる ・自分のまちがいやすいところについてまとめる。	まとめる ・テストが終わったら、算数ドリルの問題に取り組む。
育てたい力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力
算数的活動	《習熟を図る活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。	《習熟を図る活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。	《習熟を図る活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。	《習熟を図る活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。
評価規準	【表】学習内容を正しく用いて問題を解決することができる。	【知】基本的な学習内容について理解している。	【知】基本的な学習内容について理解している。	【表】学習内容を正しく用いて問題を解決することができる。 【知】基本的な学習内容について理解している。

5. 単元指導計画・単元指導構想表【3年生】

	①何十、何百のかけ算		②2けたの数に1けたの数をかける計算					③3けたの数に1けたの数をかける計算
	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
目標	○何十に1位数をかける乗法計算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○何百に1位数をかける乗法計算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○2位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○2位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○2位数×1位数（一の位の数との部分積が2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○2位数×1位数（十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○2位数×1位数（部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○3位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。
つかむ	課題を把握する 何十のかけ算のやり方を考えよう。	課題を把握する 何百のかけ算のやり方を考えよう。	課題を把握する 2けた×1けたの計算のしかたを考えよう。	課題を把握する 2けた×1けたの筆算のしかたを考えよう。	課題を把握する 繰り上がりのあるかけ算の筆算のしかたを考えよう。	課題を把握する 答えが3けたになる筆算のしかたを考えよう。	課題を把握する 百の位に繰り上がる筆算のしかたを考えよう。	課題を把握する 3けた×1けたの計算のしかたを考えよう。
しらべる	・20×3の計算のしかたを考える。 *タイル図やテープ図をノートにかき、20×3の意味を考える。2×3をもとにすればよいことをとらえる。	・300×5の計算のしかたを考える。 *20×3の既習をいかし、3×5をもとに考える。	・23×3の計算のしかたを、したりして考える。 *答えの見積もりをする。 *アレイ図や模擬貨幣を使ったり数操作をする。	・筆算のしかたをまとめる。 *筆算をかき、図もかいて確かめる。	・1辺16cmの正方形の周長を求める式を考え、その計算を筆算でするしかたを考える。 *図と筆算をノートにかく。	・42×3、58×3の筆算のしかたを考える。 *答えの見積もりをする。 *筆算をかき、タイル図もかいて確かめる。	・29×4や75×4の筆算のしかたを考える。 *答えの見積もりをする。 *筆算をかき、タイル図もかいて確かめる。	・312×3の計算のしかたを考える。 *答えの見積もりをする。 *筆算をかき、タイル図もかいて確かめる。
たしかめる	*計算のしかたを順序よく説明する。 *20×3の意味について話し合い、2×3をもとに計算すればよいことに気づかせる。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *300×5の意味について話し合い、3×5をもとに計算すればよいことに気づかせる。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *位毎にかけ算をして考える。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *図と筆算を結び付けて考える。	*計算のしかたを順序よく説明する。特に、繰り下がる場合の考え方について分かりやすく話す。 *タイル図と筆算を結び付けて考える。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *タイル図と筆算を結び付けて考える。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *タイル図と筆算を結び付けて考える。	*計算のしかたを順序よく説明する。 *タイル図と筆算を結び付けて考える。
まとめる	まとめる 何十のかけ算は、10がいくつつあるかを考えて計算します。	まとめる 何百のかけ算は、100がいくつつあるかを考えて計算します。	まとめる 2けた×1けたの計算は、位毎にかけ算をして計算します。	まとめる 2けた×1けたの筆算は、一の位から順番にかけ算をしていきます。	まとめる 繰り上がりのあるかけ算の筆算は、繰り上がりを十の位でかけた数にたします。	まとめる 答えが3けたになる筆算は、百の位に答えを繰り上げます。	まとめる 百の位に繰り上がる筆算は、繰り上がった数を小さく書いて忘れずにたします。	まとめる 3けた×1けたの計算は、一の位から順番に計算します。
育てたい力	根拠を明らかにしながら考える力	解決への見通しを持つ力	解決への見通しを持つ力	筆算の計算の仕方を順序よく話す力	根拠を明らかにしながら繰り上がりの筆算を考える力	根拠を明らかにしながら、筆算のしかたを説明する力	根拠を明らかにしながら、筆算のしかたを説明する力	根拠を明らかにしながら、筆算のしかたを説明する力
算数的活動	《意味理解を深める活動》 タイル図やテープ図をノートにかかせ、20×3の意味を考えさせる。	《学習したことを活用する活動》 20×3の既習をいかし、100がいくつつあるか考えさせ、3×5をもとにすればよいことに気づかせる。	《意味理解を深める活動》 アレイ図や模擬貨幣を使い、数操作をさせ、位に分けて計算すればよいことに気づかせる。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、筆算の意味理解を図る。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、筆算の繰り上がりの意味理解を図る。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、答えが3けたになる筆算の意味理解を図る。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、十の位に繰り上がった数をたして百の位に繰り上がる筆算の意味理解を図る。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、位毎に計算していけばよいことをとらえさせる。
評価規準	【考】何十×1位数の計算を、1位数×1位数の計算をもとにして考えている。	【考】何百×1位数の計算を、1位数×1位数の計算をもとにして考えている。	【関】2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。 【知】2位数×1位数の筆算形式のかき方としくみを理解している。	【関】2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。 【知】2位数×1位数の筆算形式のかき方としくみを理解している。	【表】2位数×1位数（一の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。	【表】2位数×1位数（十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた）の筆算ができる。	【表】2位数×1位数（部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり）の筆算ができる。	【考】3位数×1位数の筆算のしかたを、2位数×1位数の筆算をもとにして考えようとしている。

	③ 3けたの数に1けたの数をかける計算			④ まとめ			
	9	10	11	12	14	15	
目標	○3位数×1位数（一、十の位の数との部分積が2けた）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	○3位数×1位数（部分積がみな2けた、及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。 ○3位数×1位数の筆算の理解を確実にする。	○乗法の結合法則について理解するとともに、3つの数の乗法が1つの式に表せることを理解する。	○学習内容を確実に身につける。	○学習内容の理解を確認する。	○学習内容の理解を確認する。	○学習内容を確実に身につける。 ○学習内容の理解を確認する。
つかむ	課題を把握する 繰り上がりがある3けた×1けたの計算のしかたを考えよう。	課題を把握する 繰り上がりがあり、答えが4けたになるかけ算の計算のしかたを考えよう。	課題を把握する 3つのかけ算を工夫して計算しよう。	課題を把握する かけ算の筆算のしかたをしっかりとぼえよう。	課題を把握する かけ算の筆算のまとめをしよう。	課題を把握する かけ算の筆算のまとめをしよう。	課題を把握する 力だめしをしよう。
しらべる	・386×2の筆算のしかたを考える。 * 答えの見積もりをする。 * 図と筆算を結び付けて考えさせ、筆算の繰り上がりの意味理解を図る。	・937×4, 537×3の筆算のしかたを考える。 * 答えの見積もりをする。 * 図と筆算を結び付けて考えさせ、筆算の繰り上がりの意味理解を図る。	・場面をとらえ、代金の求め方について考え、検討する。 ・3口の乗法の式で表す。 * 答えの見積もりをする。 * 2種類の式を解く。	・「力をつけよう」に取り組む。	・「たしかめよう」に取り組む。	・かけ算の筆算についてのポイントをまとめる。 * 教科書やノートを振り返りながら大切なところをまとめる。 ・学習プリントに取り組む。	・ワークテストに取り組む。
たしかめる	* 計算のしかたを順序よく説明する。特に繰り上がりについてわかりやすく話す。 * 2けた×1けたの時と同じように、繰り上げていけばよいことに気づく。	* 計算のしかたを順序よく説明する。特に繰り上がりについてわかりやすく話す。 * 2けた×1けたの時と同じように、繰り上げていけばよいことに気づく。	* 計算のしかたを順序よく説明する。 * 2つの式の関係について考える。	* 答え合わせをし、なぜ間違ったのか考える。	* 答え合わせをし、なぜ間違ったのか考える。	* 答え合わせをし、なぜ間違ったのか考える。	* 答え合わせをし、なぜ間違ったのか考える。
まとめる	まとめる 繰り上がりがある3けた×1けたの計算は、上の位に繰り上げ、たし算をします。	まとめる 繰り上がりがあり、答えが4けたになるかけ算も順番に計算します。	まとめる かけ算は、順番を変えても、答えは同じになります。	まとめる 自分のまちがいやすいところについてまとめる。	まとめる 自分のまちがいやすいところについてまとめる。	まとめる 自分のまちがいやすいところについてまとめる。	・テストが終わったら、算数ドリルの問題に取り組む。
育てたい力	根拠を明らかにしながら、筆算のしかたを説明する力	根拠を明らかにしながら、筆算のしかたを説明する力	算数の良さ（結合法則を使うことよさ）に気づく力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力	根拠を明らかにしながら、考える力
算数的活動	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、筆算の繰り上がりの意味理解を図る。	《意味理解を深める活動》 図と筆算を結び付けて考えさせ、答えが繰り上がって4けたになる筆算の意味理解を図る。	《算数のよさを感じ取らせるための活動》 結合法則を使い、工夫して計算すると便利なのが分かる活動を仕組む。	《習熟を図るための活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。	《習熟を図るための活動》 間違いやすいところを意識しながら、問題を解決させる。	《習熟を図るための活動》 解決するためのポイントをまとめさせる。	《習熟を図るための活動》 自分で確かめながら、問題を解決させる。
評価規準	【考】3位数×1位数（一、十の位の数との部分積が2けた）の筆算ができる。	【表】3位数×1位数（部分積がみな2けた、及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算ができる。	【表】乗法2段階の式を1つの式に表すことができる。	【表】学習内容を正しく用いて問題を解決することができる。	【知】基本的な学習内容について理解している。	【知】基本的な学習内容について理解している。	【表】学習内容を正しく用いて問題を解決することができる。 【知】基本的な学習内容について理解している。

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

【2年】・4の段の九九を構成する。

【3年】・2位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算のしかたを理解する。

(2) 評価規準と具体的評価規準

【2年】

観点	十分満足	おおむね満足	努力を要する児童への支援
【数学的な考え方】 乗法について成り立つ性質を用いて、九九の構成のしかたについて考えている。	乗法について成り立つ性質を用い算数用語も使いながら、九九の構成のしかたについて考えている。	乗法について成り立つ性質を用いて、九九の構成のしかたについて考えている。	アレイ図を使って考えさせるようにする。

【3年】

観点	十分満足	おおむね満足	努力を要する児童への支援
【関心・意欲・態度】 2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。	2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考え、説明することができる。	2位数×1位数の筆算のしかたを既習の乗法九九などをもとに考えようとしている。	既習の問題と比較させ、数を分解し、位ごとに乗法九九を使うように支援する。

(3) 本時の指導にあたって

【2年】

本時は、4の段の九九の構成を行う。アレイ図やたし算とかけ算の式とを結びつけて考える意味理解を目的とした算数的活動を取り入れ、いくつ分が1増えると、一つ分の数である4ずつ増えていくことをとらえさせる。

本時で育てたい力は、既習の5, 2, 3の段の構成のしかたを根拠として、算数用語を用いてわかりやすく説明することができる力である。

【3年】

本時は、前時の 20×3 をもとにして考え、位毎にかけ算九九を用いればよいことをとらえさせる。そのために、前時同様お金の図をかき、式と結び付けて考える意味理解を図るための算数的活動を行う。

本時で育てたい力は、適切な既習事項を選択し、答えや方法の見通しをもつことができる力である。

(4) 本時の展開

2 学 年			3 学 年			
段階	支援、評価及び指導上の留意点	学習活動	形態	学習活動	支援、評価及び指導上の留意点	段階

し ら べ る 1 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・3の段の九九の構成のしかたを想起させる。 ・一つ分の数×いくつ分についておさえる。 ・プリントを準備し、アレイ図でも表現させ、確かめさせるようにしたい。 <p>【考】乗法について成り立つ性質を用いて、九九の構成のしかたについて考えている。</p>	<p>4. 解決の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台数が増えると4人ずつ増えるから、たし算をすればよい。 ・一つ分の数ずつ増えるから、4をたしていけばよい。 <p>5. 自力解決に取り組む。</p> <p>◎たし算やアレイ図を使って、4の段の九九を考える。</p> <p>①墨加</p> $4 \times 1 = 4$ $4 \times 2 = 4 + 4 = 8$ $4 \times 3 = 4 + 4 + 4 = 12$ $4 \times 4 = 4 + 4 + 4 + 4 = 16$ $4 \times 5 = 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 20$ <p>②図</p> <table style="border: none;"> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </table>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○	○																				
	○	○	○	○	○																				
○	○	○	○	○																					
○	○	○	○	○																					
			<p>5. 学びあいをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決のし方を説明する。 ・解決方法で似ていることについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・位毎に分けて、かけ算九九を用いればよいことに気づかせる。 	た し か め る 8 分																				
			<p>6. 課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>2けた×1けたの計算は、位毎に分けて、かけ算九九を使って計算します。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめにつながる言葉を板書に残しておき、自分たちでまとめさせたい。 	ま と め る 1 7 分																				
た し か め る 7 分	<ul style="list-style-type: none"> ・かける数が1増えると、一つ分の数の4ずつ増えることをとらえさせる。 	<p>6. 学びあいをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えが4ずつ増えている。 ・前の答えに4をたせば、次の答えを求めることができる。 <p>7. 類似問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットコースター6台分から9台分までの人数を求める。 	<p>7. 練習問題を解く。</p> <p>① 21×4</p> <p>② 24×2</p> <p>③ 32×3</p> <p>④ 12×4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントにも挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終わったら、自分達で答えあわせをする。 																					

<p>ま と め る 5 分</p>	<p>・まとめにつながる 言葉を板書に残して おき、自分たちでま とめさせたい。</p>	<p>8. 課題についてまとめる。</p> <div data-bbox="443 174 746 271" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>4のだんの九九も、4 (一 つ分の数) ずつふえていく。</p> </div> <p>9. 今日の学習について振り 返る。 ・学習の感想を書く。</p> <p>10. 感想を交流し合う。</p>		<p>8. 今日の学習について振り返 る。 ・学習の感想を書く。</p> <p>9. 感想を交流し合う。</p>		
--	--	---	--	--	--	--